

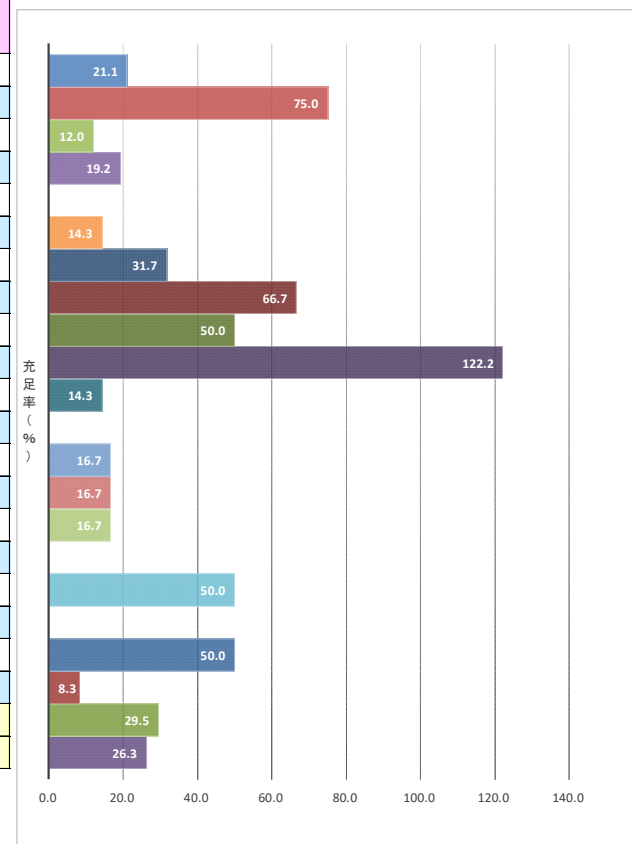
愛媛県内 こども食堂活動数

2021.11.30 確認時点
83ヶ所

こども食堂ネットワークとの連携



No.	市町名	小学校数 (校)	こども食堂数 (軒)	充足率 (%)
1	四国中央市	19	4	21.1
2	新居浜市	16	12	75.0
3	西条市	25	3	12.0
4	今治市	26	5	19.2
5	上島町	5	0	0.0
6	東温市	7	1	14.3
7	松山市	60	19	31.7
8	松前町	3	2	66.7
9	砥部町	4	2	50.0
10	伊予市	9	11	122.2
11	内子町	7	1	14.3
12	久万高原町	9	0	0.0
13	大洲市	12	2	16.7
14	西予市	12	2	16.7
15	八幡浜市	12	2	16.7
16	伊方町	5	0	0.0
17	宇和島市	30	15	50.0
18	鬼北町	6	0	0.0
19	松野町	2	1	50.0
20	愛南町	12	1	8.3
県内合計		281	83	29.5
全国		19,340	5,086	26.3



筆者作成

1)文部科学省「令和2年学校基本調査」2021.12.2閲覧

2)むすびえHP (<https://musubie.org/news/2898/>) 2021.12.2閲覧

こども食堂ネットワークとの連携



えひめフードバンク愛媛について

私たちは、スーパーマーケットなどの小売店、食品工場、農家の方々と連携し、余剰食料や食品雑貨の寄付をしています。



特定非営利活動法人
eワーク愛媛

えひめフードバンク愛媛
中予事務局

えひめ地域こども食堂
ネットワーク中予事務局
35団体

えひめフードバンク愛媛
本部事務局

えひめ地域こども食堂
ネットワーク東予事務局
24団体

えひめフードバンク愛媛
南予事務局

えひめ地域こども食堂
ネットワーク南予事務局
24団体

2021年3月、えひめ地域こども食堂ネットワークが設立され、フードバンクと県内こども食堂との連携効果が高まった。現在、県内3ヶ所のフードバンク拠点とこども食堂ネットワークの3拠点がそれぞれの地域で連携できており、食料シェアを効率的に進めることができる。

えひめ地域
こども食堂
ネットワーク

あらたなコミュニティのカタチ。あらたなつながりのハジマリ。



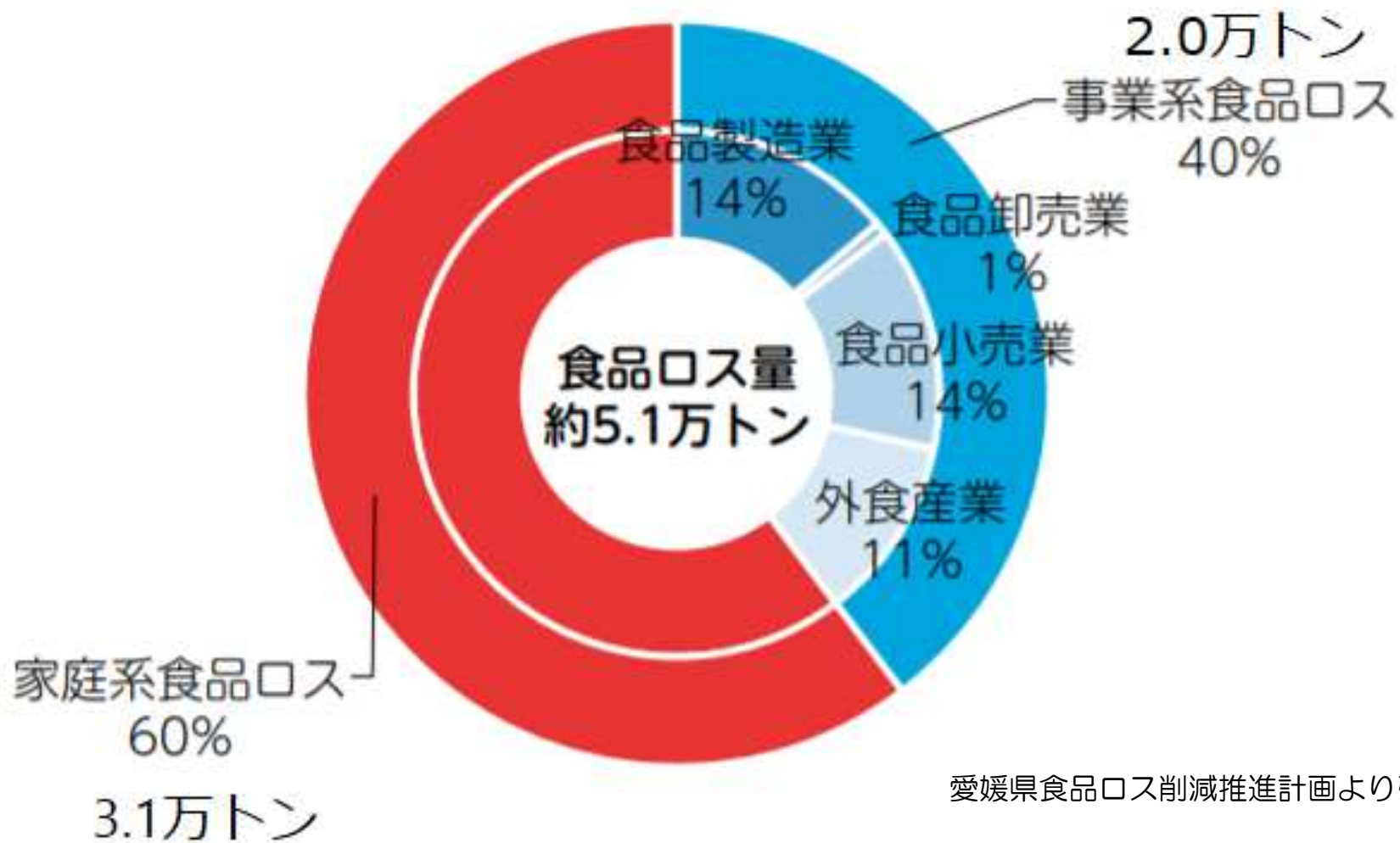
こども食堂の運営・連携



こども食堂でのフードパントリー



愛媛県 食品ロス発生状況



愛媛県食品ロス削減推進計画より引用

フードドライブには大きな意義がある

- ①食品ロス削減推進法が施行され、事業系の食品ロスは流通、販売、製などのシステムを改善させ、今後、事業者が進めていく流れができた。
- ②家庭系の食品ロス削減は、消費者一人一人の心がけにかかっている。
- ③フードドライブは、家庭系の食品ロス削減の効果があるシステムとして数少ない取組である。
- ④フードドライブの拡大によって食品ロス削減に対する消費者の認知度が向上する。
- ⑤消費者として利用する、飲食店での食べ残しの減少や「てまえどい」（賞味期限の近い方からの購入）など事業系食品ロス削減が進むことが期待できる。

イベント型フードドライブ



2019.10 新居浜市総合福祉会館



2021.2 松山市フードドライブ
(フジグラン松山)



2020.10 愛媛県3Rフェア
(エミフィルムサキ)



2018.7 イオンホール



2018.5 福祉のつどい(八幡浜市)

店舗常設型フードドライブ 実施個所

2022年1月現在 31ヶ所(自拠点含む)



2021年4月
常設型フードドライブ開始(株式会社フジ3店舗で開始)。
以降、フジ11店舗で追加実施され、道後さや温泉ゆら
ら、

東予信用金庫、コープえひめ(全10店舗)、
イオンモール新居浜で開始。

2022年1月現在、県内計31ヶ所(自拠点含む)で常設
型フードドライブ実施中。

さらに、今年度中に4店舗の常設型フードドライブ開始
について、株式会社フジの皆さんと調整中。



日常フードライフ

フードライフが日常の風景になり、当たり前前の言葉になれば「もったいない」という意識が普通になる。
そんな普段の生活に溶け込むフードライフ。
そうなれば、「もったいない」ことをする行為が恥ずかしくなる。そして、家庭系食品ロスは減少していくのだと思う。